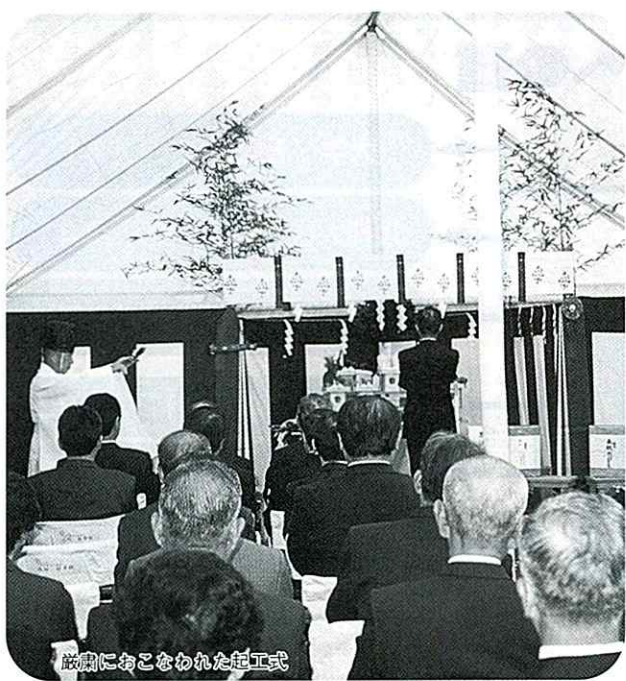


いよいよ増改築工事始まる

# 起工式挙行

かねてより待たれていた、玄々堂君津病院(本院)・木更津クリニック(分院)の増改築工事が始められた。それに先立ち、十一月七日、本院西側駐車場にて起工式が執り行われた。



敷地におこなわれた起工式

### 本院起工式

爽やかな秋晴れの下、今後一年余りに及ぶ工事の無事を

### 屋内消火栓 操法大会参加

第十七回君津市自衛消防屋内消火栓操法大会が、十月二十九日君津市民文化ホール駐車場にて行われた。大会参加は二十一事業所・六十三名(二チーム三名)であった。

当院からは男子チーム(斉藤・山口・高沖)女子チーム(石井恵・松澤・足城)が選ばれ業務の傍ら練習を重ねた。成績は男子四位(努力賞)

## 看護管理研修に参加して

木更津クリニック 主任看護婦 伊藤かつ



九月二十一日に、君津勤労福祉センターで看護管理研修が行われました。千葉県医療技術大学の清田恵津子先生に講師をお願いし、ヘンダーソンの看護理論についての講演をして頂きました。当院で行われている看護に、理論として裏付けを持たせる事で、今後の看護の質的向上を図る為の研修でした。今回は、総局長、婦長、主任、副主任を対象に各部署ごとに事前学習があり、私達が日頃行っている看護内容を、「ヘンダーソンの看護の基本となるもの」を自分で、自分の部署の看護がどうあるかを振り返りまとめるといふ事でした。毎日忙しい業務の中でまとめ、ワープロで仕上げたものは、すばらしく、玄々堂の看護の内容が明確に現わされたものでした。

今回研修場所が院外だった為、集中出来た事と、副主任を交えての研修だったので、意見交換も出来て、現場に降ろし実践に生かす事が出来る点が、大きな収穫でした。

二月には、フォロー研修がありますが、せっかく学んだ理論ですので、現場に活用していきたいと思えます。そして、患者さんにより良い看護を提供していきたいと思えます。

祈願した。

出席者は、池田貞雄理事長、高田眞行名誉院長、茅野嗣雄院長、武部副院長、鈴木達也先生、大崎慎一医局長、大神ヨシ子総局長、山口稔部長、茅野清嗣事務局長、各部署婦長・主任ら三十名、工事施工業者・敷地及び近隣関係者三十名であった。

これにより、将来を視野に入れ、新たな基礎を築き上げ、更なる発展の出発点となるであろう。

### 木更津クリニック改修工事開始

本院の工事と併行して、木更津分院二階部分の改修工事が始められた。

君津本院は、慢性的ベッド不足解消及び君津地域の高度医療充実を主な目的とするのに対し、分院は透析患者の増加に対応しつつ利便性を兼ね備えるなど、分院の持つ小回りの良さを最大限に生かす為、両院異なる性格付けとなっている。

### 第九回 院内看護研究発表会開催



当日の院内看護研究発表会

十月三日、第九回院内看護研究発表会がホテル千成に於いて行われた。講師に東京大学大学院生の木村恵子先生・三木明子先生を招き、九題が発表された。

院外参加者からも多くの発言があり、地域交流を含め、「主体的な看護」について、活発な討議の場となった。

### 第二十四回 千葉県透析研究会参加

第二十四回を迎える千葉県透析研究会が十一月二十四日に千葉県労働者福祉センターにて開催された。当院からは白柳医師、加藤・塘看護婦、

### クリニック救急患者、 本院ICUまで

十二月三日、木更津クリニックで吐血患者が発生した。木更津クリニック中川医師より本院茅野院長に、午後一時十分第一報が入ったが、直ちに本宮医師乗車で救急車発進、現場で手当続行の中川医師と救急走行中、本宮医師が電話連絡をとり、クリニック到着と同時に患者を収容、反転して約二十分後に本院ICUに患者を搬入、ただちに輸血を含む救急治療を施し事なきを得た。第一報より約一時間で救急任務が終了した。

君津病院では、かねてからドクターカーで本院クリニックを結び、傷病発生現場から本院ICUまで継続した治療を計画していたが、今回、図らずも計画が実行され、成功した事により弾みがついた。一カ月前にはクリニック本院の完全居室ブロック患者を本院ICUに収容しペースメーカー挿入して一命をとりとめたが、これらの経験をもとに今後充分な訓練を積み、クリニックスの救急対応をより迅速、より確実なものにしていき

### 接遇セミナー開催

九月十二日、管理棟大会議室に於いて、大神総局長をはじめ、七十二名の参加のもと第二回接遇セミナーが開催された。

今回はマナーコーディネーターの岩下宣子先生を講師に招き、「仕事を楽しくする為の対応マナー」と題し、先生がマナーを勉強する様になったきっかけや、対応マナーのポイントなど約二時間の白熱した公演が行われた。

マナーの心得として①第一印象②ハロー効果③伝達効果④思いやりが挙げられる。今後これらを仕事、日常生活の中で役立て、真心のこもった対応マナーが実行されていくことである。

参加者には大変好評で、十二月十二日には第三回の接遇セミナーも開催された。職員への接遇に対する意識がより高まったようである。

### クリニックス救急患者、 本院ICUまで

十二月三日、木更津クリニックで吐血患者が発生した。木更津クリニック中川医師より本院茅野院長に、午後一時十分第一報が入ったが、直ちに本宮医師乗車で救急車発進、現場で手当続行の中川医師と救急走行中、本宮医師が電話連絡をとり、クリニック到着と同時に患者を収容、反転して約二十分後に本院ICUに患者を搬入、ただちに輸血を含む救急治療を施し事なきを得た。第一報より約一時間で救急任務が終了した。

君津病院では、かねてからドクターカーで本院クリニックを結び、傷病発生現場から本院ICUまで継続した治療を計画していたが、今回、図らずも計画が実行され、成功した事により弾みがついた。一カ月前にはクリニック本院の完全居室ブロック患者を本院ICUに収容しペースメーカー挿入して一命をとりとめたが、これらの経験をもとに今後充分な訓練を積み、クリニックスの救急対応をより迅速、より確実なものにしていき

### 秋の小旅行 都内を散策

十一月十五日、二十一日、二十九日と都内小旅行が行われた。今回は、新宿京王プラザホテルに於いての食事会であり、三日間で一七七名の参加があった。夕方までは、自由行動で各々芸術の秋、スポーツの秋を満喫したようである。

食事会では、他部署の職員との交流を深めることができ、参加者は心身ともにフレッシュな気持ちで迎えた。

### 十年勤続表彰 ハワイ旅行に旅立つ

九月九日、今年も十年勤続表彰として五泊六日の行程で憧れのハワイ旅行へ旅立った。

今年は、高橋弘明さん、住沢直子さん、神子千江子さん、中田いとさん、弓座みどりさん(順不同)の計五名が参加した。ハワイでは、観光やショッピングなど思う存分満喫し日頃日本では味わえない素敵な体験や感動の楽しいひとときを過ごした。

### 六カ月前新人 フォローアップ研修

十月十八日、二十五日と、二瓶婦長、総務課有富氏により新入職員を対象とした六カ月前新人フォローアップ研修が行われた。

今回は二十八名の参加があり、「入職後半年たった今、あなたの接遇について、振り返って

### 吉武理先生退任 古賀祐季子先生着任

吉武理先生が九月三十日で退任され、十月一日より古賀祐季子先生が着任された。

(四面に関連記事)

# 当院での看護教育の概要

誇りと責任を持てる仕事だから学び続けます！

## 看護婦(士)への道



(注) ※の付いている学校で定時制の場合は、修業年限が1年加算されます。  
 ※※中卒者は実務経験3年以上で、専修・各種学校の進学コースを受験できます。

看護婦(士)の仕事は、重要かつ責任のあるもの。労働条件などはかなり厳しい職種であるといえる。そして、日々、学び続けなければならないが、社会から期待されているという点では、この仕事ほど生きがい、やりがいにも満たないものはない。そこで、当院における看護婦教育の概要を紹介する為、大神総婦長と、二瓶教育婦長に、資料を提供して頂いた。また、当院の養成看護婦二名と看護学生一名に、それぞれの思いを聞いた。

看護部院内教育専任婦長

一瓶 律子



看護の仕事は皆さんもご存じのように、人を対象とした仕事です。人は人でも健康な人を対象とした仕事ではありません。病気を抱えている人、身体も心もハンディを持った人を対象とした仕事です。それだけに病気を抱えた人を看護するという事は大変難しい仕事でもあります。そのような看護の仕事をするために、看護婦は基礎教育の他に専門学校で多くの勉強を必要とします。そして試験を受けて、初めて看護婦の免許を得るわけですが、これは晴れて看護婦の免許を手にしたという一人前でしょうか。いいえ、看護婦としてのスタートはこれからです。学校で習ったことは看護の基礎となる部分で、臨床に出て初めてその応用方法を学ぶわけですが、また一方では、社会は目まぐるしく変化し、医学もどんどん進歩しています。もはや学校で学んだことだけでは、知識の上でも遅れてしまうのです。そんな変化にも、十分対応していかなければ良い看護はできません。そのために看護者となる私たちは、卒業した後も就職した後も、いつも新しい視野を持ってるようにしなければなりません。看護を仕事として選んで働く以上、常に学び続けていく事が出来るよう、当看護部では看護婦だけでなくクラーク、ナース

河原 京美  
 昭和62年入職(正看護婦)  
 私が進学した理由は、患者さんを看護する中で、技



術だけでなく知識が必要だと思つた事と、諸先輩方の勧めがあったからである。学校で基礎知識を学ぶ事で、理論的に看護を、意味あるものとして再確認できた。また、幅広い年齢層の中で学ぶ事で気分的なリフレッシュができた。今後は勉強した事が少しでも役立つよう努力していきたい。

伊藤 広美

昭和57年入職(正看護婦)



一番心に残っているの

は、戴帽式の日には、キャップを用意して主任さんが待っていてくれ、かぶせてくれたことです。私のためにわざわざ水色のキャップを用意してくれました。とてもうれしかったです。あとは、勉強しやすいよう勤務を調整してくれたのは大変助かりました。

## 院内教育計画一覧表 (平成8年看護部)

月	研修名	対象者
3月	平成8年度新人オリエンテーション ・新人技術 ・新人介護 ・救急時のABC	1. 新入職者 2. 中途採用者でオリエンテーションを受けていない者
5月	リーダー研修A	勤続年数3年以上
6月	伝達講習会(前期)	看護部全員
	新人オリエンテーションフォロー研修	オリエンテーション対象者全員
7月	ナースエイド研修	ナースエイド全員
	リーダー研修Aフォロー研修	リーダー研修A対象者
	リーダー研修B	リーダー研修Aを終了した者
9月	管理研修	婦長・主任・副主任
10月	看護研究発表会	看護部全員
11月	クラーク研修	クラーク全員
12月	管理研修フォロー研修	管理研修対象者
	伝達講習(後期)	看護部全員

前沢 淳子

平成7年入職(看護学生)



3F病棟の学生前沢です。去年、当院に入職して

からのこの一年半は、仕事を覚えるのに必死でしたが、レギュラーコースにはない貴重な体験をさせて頂いたと思っています。中でも患者さんとの関わりで、こちらが看護するだけでなく、逆に患者さんに元気つけてもらうこともあり、そんな時「この職業を選んでよかった」と思います。

院内研修の目的は、玄々堂エイドを含めて、院外研修と、院内研修の両面から看護職全体の現任教育に積極的に取り組んでいます。

今後の院内教育の課題は、より多くの看護者に、その一人一人に合った研修が受けられるような企画をしていくことです。研修を通して私たちも沢山学び、成長させて頂いてますので、皆さん、これからも宜しくお願いいたします！

## 当院の看護婦養成状況

- Ⅰ、准看護婦養成 (昭和57年～平成8年累計) 47名
- Ⅱ、正看護婦養成
  - 1. 進学コース 2年課程 12名
  - 2. 進学コース 3年課程 36名
  - 3. レギュラーコース 2名
- Ⅲ、保健婦養成 (資料提供 総婦長) 1名



当院では奨学金制度による、看護婦養成を行っています。

# シリーズ”病気を考える“ 16 慢性関節リウマチ

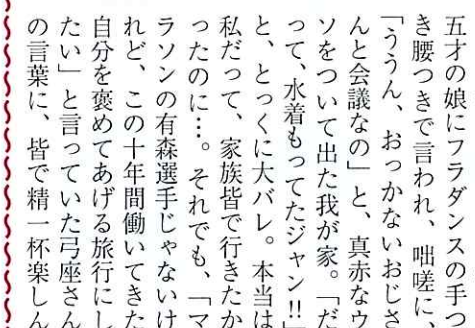
今回は慢性関節リウマチについて、南大和病院院長の吉野谷先生に解説していただきます。吉野谷先生には当院の物療内科の診察もしていただいています。先生のわかりやすく、いいいな説明は、患者さんの間で信望を集めています。



南大和病院 院長 吉野谷定美先生

一、一九六〇年以前の治療  
わが国では、第二次大戦後の十年間リウマチ熱の猛威にさらされ、リウマチ性心弁膜症の大量罹患を見た。ペニシリンとアスピリン療法がこの流れを食い止め、急速に改善しつつあった公衆衛生環境とともに、一九六〇年にはもはやリウマチ熱はわが国から駆逐されていた。慢性関節リウマチはもろもろリウマチ熱とは似て非なる疾患である。リウマチ熱がA群溶連菌感染から派生する独特のアレルギー反応であることが解明されているが、慢性関節リウマチは感染症とは全く無関係な原因不明の慢性炎症性疾患であると説明されている。一九六〇年以前には、慢性関節リウマチもリウマチ熱と同様な感染症であると考えられていたため、治療においてもペニシリンとアスピリン療法を最上とし、細菌の隠れがであるところの関節滑膜切除術が合理的治療法であると考えられていた。

二、抗炎症療法  
一九六〇年以降、慢性炎症性疾患と理解され抗炎症療法が試みられるようになるや、強力な治療法の開発と相俟って、慢性関節リウマチの治療



空中散歩で心もリフレッシュ 薬剤師 住沢直子

## 十年間のご褒美 “ハワイ旅行”

「いいなあ、ママだけ。コレしに行くんでしょ!」と、五才の娘にフラダンスの手つき腰つきで言われ、咄嗟に、「ううん、おっかないおじさんと会議なの」と、真赤なウソをついて出た我が家。「だって、水着もつたじゃん!!」と、とっくに大バレ。本当は私だつて、家族皆で行きたかったのに。それでも、「マラソンの有森選手じゃないけれど、この十年間働いてきた自分を褒めてあげる旅行にしたい」と言っていた弓座さんの言葉に、皆で精一杯楽しんで

でこようと誓い合ったので。 出発当日、日本はどしゃぶりの雨。空港、デッキに佇んでいられた状態ではありませんでしたが、現地に着き、ハワイの空と共に、心はウキウキ。そうは言っても、磁石のような険に逆うことは出来ないうと、次差ボケの長い一日。ホテルに着いたらひとと休みと思つていたはずなのに、やっぱり私、タフなやつ。午後四時とはいえ、まだまだ照りのんびり。ウーン、リゾートシテルって感じ?!と、それぞれのハワイを満喫して来まし

三、抗リウマチ薬  
三番目に登場した抗炎症剤はいわゆる抗リウマチ薬である。一九七二年にイギリスで金注射が抗炎症効果をもつことが科学的に認められ、慢性関節リウマチへの使用が認可され、わが国も一九七七年にこれを許可している。その後、ベニシラミン、カルフェニール、リマチル、リドローラ、サラゾリンなどが続々と開発され慢性関節リウマチの治療に用いられるようになった。このような抗炎症剤の開発によって、一九八〇年には体系的慢性関節リウマチ治療法とも云うべきものが確立する。これはピラミッド療法と呼ばれる、上記三種の抗炎症剤をそれぞれ少量づつ重ね合わせる使用法である。それにより、副作用を軽減して、薬物

偶から偶までハワイを歩き尽くした中田夫妻。おそろいのオレンジウエアは親子。フットロックカーにて、スニーカー選びに余念がないのは弓座さん。高橋家の皆さんは、ポリネシア文化センターで見た炎のショーに少々興奮さみ。そして私はヘリコプターで空中散歩。(絶対オススメです) 又、南大和の皆様、ジュラシックパークでも、沢山の楽しい思い出、M&A H&A LO. そしてそして、今度はもうすぐ、あなたの番ですよ!!

## 趣味の欄

### 小林寺拳法

3F 看護婦 山口由美子



少林寺拳法を始めてはや五年。入門した当時は黒帯を締める事など考えもしませんでした。昇段審査を終えてみると五年間はあっという間に過ぎたように感じられます。 私が少林寺拳法と出会ったのは准看学生の時です。少林寺拳法をやっている知り合いに誘われ、軽い気持ちで稽古の見学に行ったのですが、そこで稽古をしていた一人の女性を見て、「かっこいい」と思い、たつたそれだけの理由

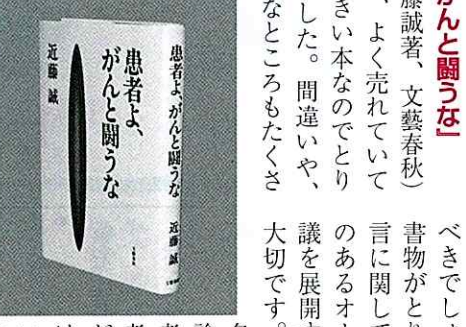
で入門してしまつたのです。しかし現実には厳しい。基本の型がなかなか覚えられず、体は悲だらけ、辞めたいと何度か思いました。 正看の学校に入り、環境が変わり、仕事と学校の両立で稽古へ行けない日も多かつたのですが、いつの間にか私にとって少林寺拳法は、運動不足とストレスを解消する場となつていたのです。大きな声を出し、汗をかいて、男性と対等に取り組む事はとても爽

快でした。 今では、週二回の稽古の後プールで軽く泳ぎ、サウナで汗を流してビールをくいと飲む。これが私の趣味となつています。 ただ一つ、困っている事があります。白衣姿になつても話しかけられ、歩き方に少林寺拳法が入つてしまつているのです。これだけはどうやっても直す事ができないのです。

## 本の紹介

今回、患者さんにも興味のある本をという主旨で、二冊の本を「タヌキの書評」(こんな短いスペースで書評が出来ると思ったら、それはキツネかタヌキに違いありません。だまされたいよう御用心。)と題して紹介いたします。

「患者よ、がんと闘いな」 (近藤誠著、文藝春秋)

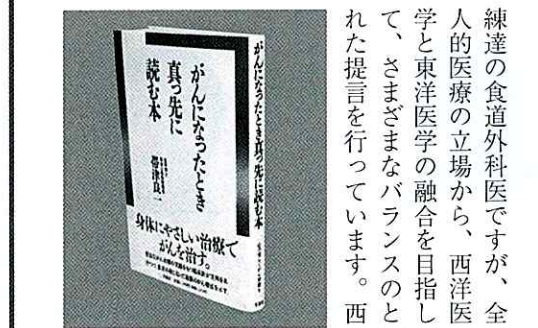


この本は、よく売れていて影響力の大きい本なのでとりあげてみました。間違いや、我田引水のところもたくさんありますが、がん医療に関する情報公開の書として評価す

面白い)が、まだ核心を衝くかみあつた論戦にはなつていないのが残念です。書評子の出番かなと思つています。 みなさんも一つこの本をじっくり読んで反論を試みてはいかがでしょう。

## タヌキの書評

「がんになつたとき真つ先に読む本」 (帯津良一著、草思社) これは、書評子の友人が書いた書物です。



練達の食道外科医ですが、全人的医療の立場から、西洋医学と東洋医学の融合を目指して、さまざまなバランスのとれた提言を行つています。西

# 職員紹介

◎外 来◎

今回は、病院の顔というべき存在である外来のスタッフを紹介します。

## 看護婦

 石橋 スエ子 22年目	 河原 棟子 23年目	 総婦長室付主任看護婦 竹内 智子 9年目	 副主任看護婦 渡部 和子 14年目
 高尾 優子 9年目	 武井 玲子 9年目	 及川 よし子 9年目	 坂崎 悦子 17年目
 三澤 みどり 6年目	 政所 ムツ子 7年目	 在原 明美 7年目	 西村 郁子 8年目
 井上 己幸 1年目	 渡邊 詔子 4年目	 名古屋 美佐 5年目	 野田 百合子 5年目

  
主任看護婦  
横山 のぶ子  
16年目

現在外来スタッフは28名です。年代層に幅広く、キャラクター豊富で華奢な体(スタッフは私の足より細い足です)で、毎日忙しく仕事をし、終了時にはヘアームみだれ、口紅も食べてしまい、疲労度Vなり。しかし患者さんに対しては、常に「笑顔」をもって、また診察室では「お待ちせ致しました」と声をかけをし、各々が「思いやり」のある態度で接し、人間と人間の触れ合いの持てる継続的信頼関係を確立し、よりよい看護ケアの提供の為に、スタッフ一同努力しています。

## クラーク

 石井 恵美 3年目	 若鍋 教子 4年目	 粕谷 さと美 5年目	
 濱根 優子 1年目	 小番 昌子 1年目	 篠宮 恵子 1年目	 池田 真由美 2年目

## 古賀祐季子先生紹介



十月一日付にて、当院に東京女子医大より、古賀先生が赴任された。ここに先生の紹介を兼ねて、幾つかの質問をしてみた。

★出身地：東京都  
★血液型：B型  
★趣味：スポーツをすること


★特技：どこでもすぐ寝ること、乗馬  
★尊敬する人：両親  
★好きな食物：肉料理、麺類、アイスクリーム  
★嫌いな食物：刺激の強い物  
★仕事のモットー：患者さんには優しく笑顔で接する事を目標にしています。

★玄々堂での抱負：皆さんの顔と名前を一日も早く覚えて、皆さんと一緒に楽しく仕事をしたいと思っています。宜しくお願ひ致します。

## スターエード

 尾崎 玲子 9年目
 立川 京子 6年目
 遠藤 静子 4年目
 柴田 てるみ 4年目

## お疲れさまでした 吉武理先生



好きな言葉は一期一会／好きな色は水色／好きな人物は国定忠治と永倉新八／好きな作家は池波正太郎と井上ひさしとO・ヘンリー／好きな料理は寿司と蕎麦／好きなお酒はキリンラガー

好きな言葉は一期一会／好きな色は水色／好きな人物は国定忠治と永倉新八／好きな作家は池波正太郎と井上ひさしとO・ヘンリー／好きな料理は寿司と蕎麦／好きなお酒はキリンラ

ガートウオッカ／好きな国はタイとインド／好きなスポーツはバスケットボールとサーフィン／好きな場所は海／好きな詩人は中原中也／好きな音楽はブルースとロック／など。

わたしはこんなものたちに囲まれていくことに幸せを感じます。お医者さんの仕事も大好きです。有意義だと感じることができて、他人(患者)の身になれ、為になれていると感じられ、かつ楽しくできれば私は充実感で満たされま。そうさせてくれる環境に恵まれることはとても幸せなことです。

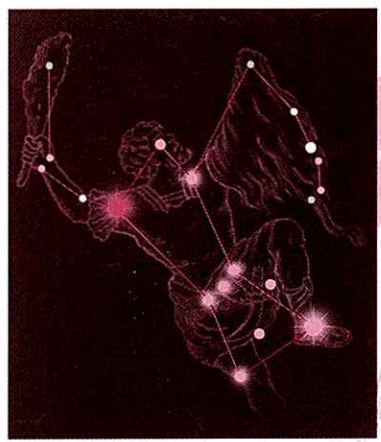
ことです。全部が満たされなくても一つでも好きなものを側に置き、好きなものに力をつけてもらうことが今日を生きたる活力になり、明日につながる力になります。生活や暮らしてはこうにありたいと強く思います。玄々堂君津病院に勤務し、君津で過ごした約二年間は私にこれら十分満たしてくれました。こんな生活がずっと続けばいいのと思うわたくしは、君津君津病院のみならず、そのときお互いの関係が今までも変わらないものであればいいなと思います。

Good Luck

## 編集後記

- ◆この新聞が出る頃、私は静かに冬眠に入ります。 E・M
- ◆だんだん寒くなってきて、朝起きるのがとつてもつらいです。 E・W
- ◆この新聞が発行される頃、野球部三連勝のはずだが... H・M
- ◆毎年この時期は、なぜかいい事がある予感が? H・M
- ◆月日の流れがやけに早く感じた一年でした。 K・S
- ◆冬でもナナハンに乗る。 I・Y
- ◆ああ今年もいよいよ終わります。仕事の締めくくりは、やはりヒーローマンでした。 K・T
- ◆先日東京見物をしてきました。来年も頑張るぞとファイトがわいてきました。 M・Y
- ◆今回のヒーローマンは大苦戦。来年はいい事がたくさんありますように。 S・T
- ◆いろいろあった一年でした。来年も私に何がおこるか楽しみです!! Y・M

## サブタイトルはペテルギウス



今回のサブタイトルとなったペテルギウスは、冬の星座で誰かが知っているオリオン座の、右肩に輝くα星です。シリウス、プロシオンとともに冬の大きな三角形の一つで赤色超巨星になります。星の明るさが変わる変光星で、実視等級は0.3〜0.9くらいです。